

しゃかいしほんそうごうせいびけいかくしょ
社会資本総合整備計画書

びえいちゅうしんしがいちくとしさいせいせいびけいかく
美瑛中心市街地区 都市再生整備計画

「第5回変更」

平成30年9月11日

北海道 美瑛町

社会資本総合整備計画（市街地整備）

計画の名称	美瑛中心市街地区 都市再生整備計画					重点配分対象の該当
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度	交付対象	美瑛町			

計画の目標

大目標：美しい丘のまちで次代においても安心した暮らしができる活気のある市街地を再生する。
 目標1－丸山通り地区への誘客を促進し、交流人口の増加による中心市街地全体の活性化を図るための良質な空間を整備する。
 目標2－中心市街地への誘客を可能とする施設整備を推進し、地域コミュニティに負荷の少ない環境を整備する。
 目標3－新たなスタイルの拠点施設を整備し、本町の真の魅力の発信と地域交流の推進を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

【目標1に対する指標：丸山通りの歩行者数】
 丸山通りの良質な空間形成及び拠点施設の整備によって、本通地区からの誘客による交流人口及び滞在時間の増加を歩行者数の伸び率から検証する。
 【目標2に対する指標：中心市街地への入込者数】
 中心市街地の整備により創出される新たな交流人口を市街地拠点施設（四季の情報館・道の駅・ふれあい館ラヴニール）の利用者数から検証する。
 【目標3に対する指標：地域交流センターの利用者数】
 既存地域交流施設等の利用者数から算出する従前値に対し、既存建造物活用による施設が生み出す新たな交流人口を加えたものを指標とする。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H30末)	
【丸山通りの歩行者数】 交通量調査による丸山通りの日当たり歩行者数 (H30歩行者数) [人/日]	524		580	
【中心市街地への入込者数】 市街地拠点施設の年間利用者数 [人/年]	387,294		426,000	
【地域交流センターの利用者数】 商店街コミュニティ施設の年間利用者数 [人/年]	12,761		16,500	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,840 百万円	A	1,840 百万円	B	C	D	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)
-------	--------------	-----------	---	-----------	---	---	---	-----------------------------

交付対象事業

A 基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				
1	都市再生	一般	美瑛町	直接	美瑛町	美瑛中心市街地区	区域面積 A=190.4ha	美瑛町						1,840			
合計													1,840				

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				
合計																	

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

交付金の執行状況

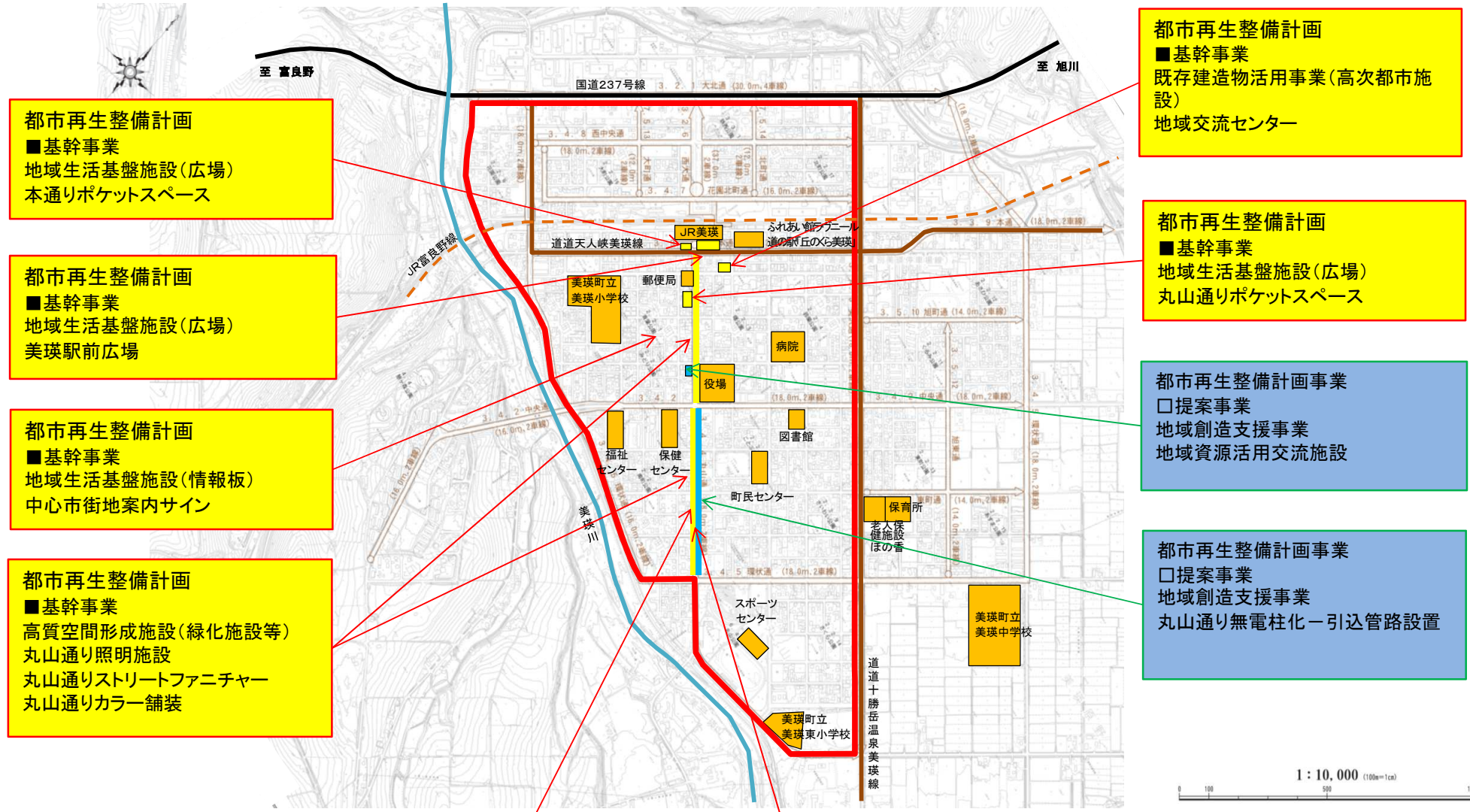
(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	148.66	170.40	210.00	125.90	73.40
計画別流用 増△減額 (b)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
交付額 (c=a+b)	148.66	170.40	210.00	125.90	73.40
前年度からの繰越額 (d)	0.00	0.00	0.00	47.40	0.00
支払済額 (e)	148.66	170.40	162.60	173.30	
翌年度繰越額 (f)	0.00	0.00	47.40	0.00	
うち未契約繰越額 (g)	0.00	0.00	0.00	0.00	
不用額 (h = c+d-e-f)	0.00	0.00	0.00	0.00	
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-	-		

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	美瑛中心市街地区 都市再生整備計画	交付対象	美瑛町
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)		

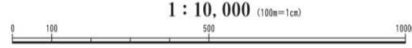


都市再生整備計画
 ■基幹事業
 既存建造物活用事業(高次都市施設)
 地域交流センター

都市再生整備計画
 ■基幹事業
 地域生活基盤施設(広場)
 丸山通りポケットスペース

都市再生整備計画事業
 □提案事業
 地域創造支援事業
 地域資源活用交流施設

都市再生整備計画事業
 □提案事業
 地域創造支援事業
 丸山通り無電柱化一引込管路設置



凡 例	
	■ 基幹事業 } 基幹事業 1
	□ 提案事業
	○ 関連事業
	都市再生整備計画区域

都市再生整備計画
 ■基幹事業
 地域生活基盤施設(広場)
 本通りポケットスペース

都市再生整備計画
 ■基幹事業
 地域生活基盤施設(広場)
 美瑛駅前広場

都市再生整備計画
 ■基幹事業
 地域生活基盤施設(情報板)
 中心市街地案内サイン

都市再生整備計画
 ■基幹事業
 高質空間形成施設(緑化施設等)
 丸山通り照明施設
 丸山通りストリートファニチャー
 丸山通りカラー舗装

都市再生整備計画
 ■基幹事業
 高質空間形成施設(電線類地下埋設施設)

都市再生整備計画
 ■基幹事業
 道路
 丸山通り歩道拡幅

都市再生整備計画「第5回変更」

び え い ちゅうしん し が い ち く
美瑛中心市街地区

ほっかいどう びえいちょう
北海道 美瑛町

平成30年 9月11日

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業	
<p>【整備方針1】丸山通り地区への誘客を促進し、交流人口の増加による中心市街地全体の活性化を図るための良質な空間を整備する。 ○バリアフリーに対応した優しい歩道空間を整備するほか、高質な空間形成を図ることによって市街地を訪れる人々が歩きたくなる魅力的な街並み空間を創出する。 ○整備が完了した本通地区やJR美瑛駅周辺に滞留する観光客の誘客を図るため、独自の街並み空間を創出する。 ○中心市街地を散策することで観光客の滞在時間を延ばし、購買力の低下した中心市街地の活性化を図る。</p>	<p>【道路（基幹事業：町）】 【高質空間形成施設（基幹事業：町）】 【高質空間形成施設（基幹事業：町）】 【高質空間形成施設（基幹事業：町）】 【高質空間形成施設（基幹事業：町）】 【高質空間形成施設（基幹事業：町）】 【地域創造支援事業（提案事業：町）】</p>	<p>丸山通り（歩道拡幅） 丸山通り（照明施設） 丸山通り（ストリートファニチャー） 丸山通り（カラー舗装） 丸山通り（歩道舗装） 丸山通り（無電柱化） 丸山通り（無電柱化一引込管路設置）</p>
<p>【整備方針2】中心市街地への集客を可能とする施設整備を推進し、地域コミュニティに負荷の少ない環境を整備する。 ○中心市街地を周遊する観光客の滞在拠点となるポケットスペースを整備し、交流人口の増加に備えた施設整備を進める。 ○多言語化に対応した案内サインの整備を進め、様々な来訪者にとって優しいインバウンド対策を進める。 ○中心市街地で開催される各種イベントに対応できる広場整備を進め、更なる交流人口の増加を目指す。</p>	<p>【地域生活基盤施設（基幹事業：町）】 【地域生活基盤施設（基幹事業：町）】 【地域生活基盤施設（基幹事業：町）】 【地域生活基盤施設（基幹事業：町）】</p>	<p>丸山通り（ポケットスペース） 本通り（ポケットスペース） 中心市街地案内サイン 美瑛駅前広場</p>
<p>【整備方針3】新たなスタイルの拠点施設を整備し、本町の真の魅力の発信と地域交流の推進を図る。 ○既存施設を活用し、芸術文化振興・世代間交流が実現できる新たなスタイルのコミュニティ施設を整備する。 ○町民の財産とも言える郷土資料を通じ、美瑛町の開拓の歴史や文化、地域資源である農村景観の成り立ちなどを都市部の人々に紹介するとともに、次代へ語り継いで行くための情報を発信できる施設を整備する。</p>	<p>【既存施設活用事業（基幹事業：町）】 【地域創造支援事業（提案事業：町）】</p>	<p>地域交流センター（商店街コミュニティ施設） 地域資源活用交流施設（郷土資料館活用）</p>

その他

【交付期間中の計画の管理について】

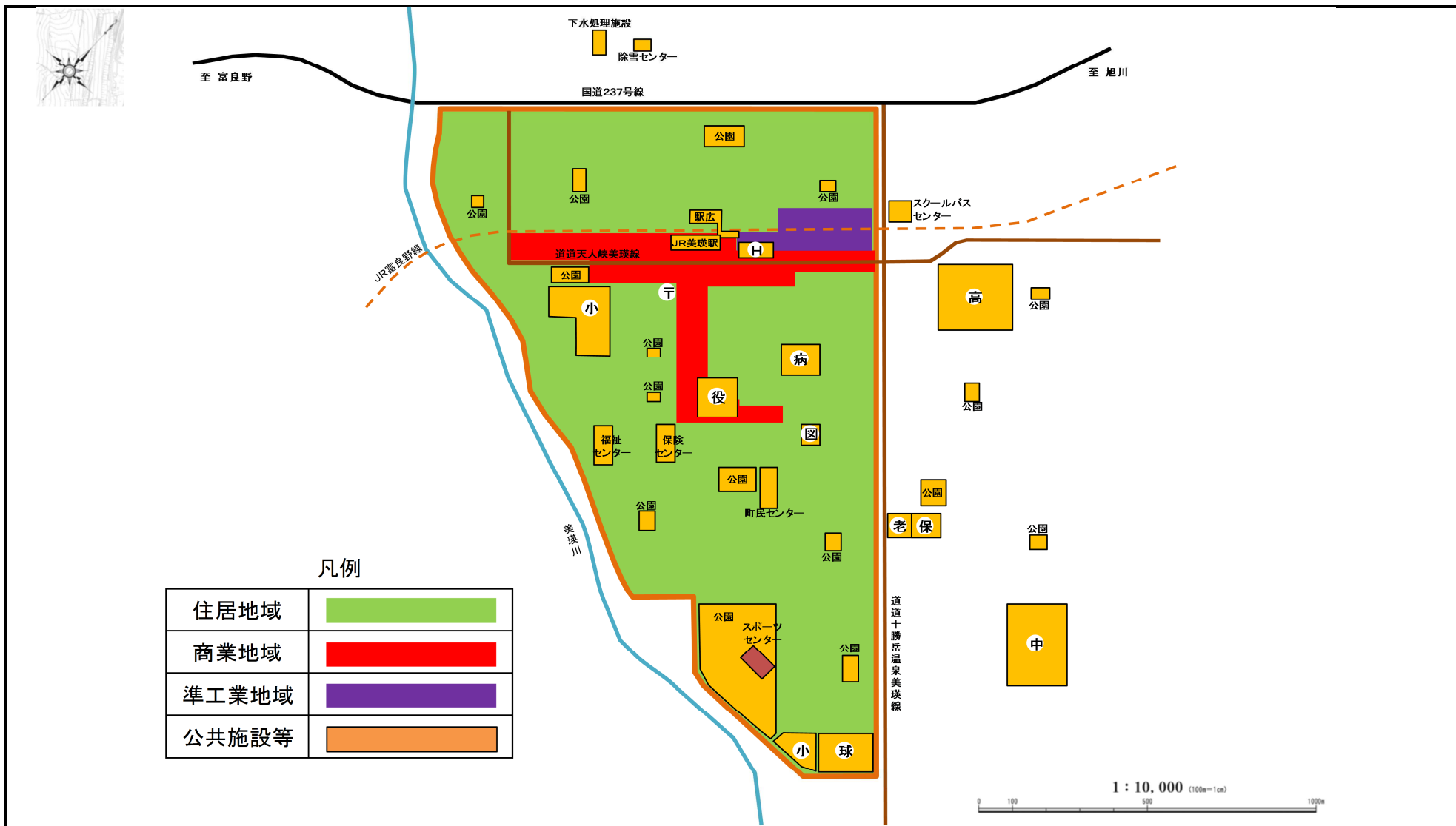
- 事業実施に伴う課題整理や事業の調整については、企画委員会（庁舎内各課から選出された委員）で検討し、住み良いまち美瑛をみんなでつくる条例に基づくまちづくり委員会に諮ります。また、大学と連携したまちづくりを進める本町の特性を活かし、北海道大学等の有識者と協力した事業推進にあたります。
- 計画の内容、事業の進捗状況については、広報等を通じて町名に対する周知を図っていきます。

【事業終了後の継続的なまちづくり活動】

- 継続的に企画委員会、まちづくり委員会において協議し、新規整備事業およびソフト事業の模索、展開を図ります。
- 平成17年度に策定された「美瑛町まちづくり総合計画」をまちづくりの最上位計画に位置づけ、「住み良いまち美瑛をみんなでつくる条例」「美瑛の美しい景観を守り育てる条例」を基に、丘の景観と調和する市街地景観を地域と一体となって育てていきます。
- 小さくても素晴らしい地域資源や美しい景観を持つ地域が、失ったら二度と取り戻せない日本の農山村の景観や環境・文化を守るため、平成17年10月に設立したNPO法人「日本で最も美しい村」連合の活動を通じて連携し、地域の魅力発信や交流人口の増加による地域経済の発展を推進するとともに、その必要性についての世論を高めることで、景観、環境、文化の保全および保護を行い、まちづくりを推進します。

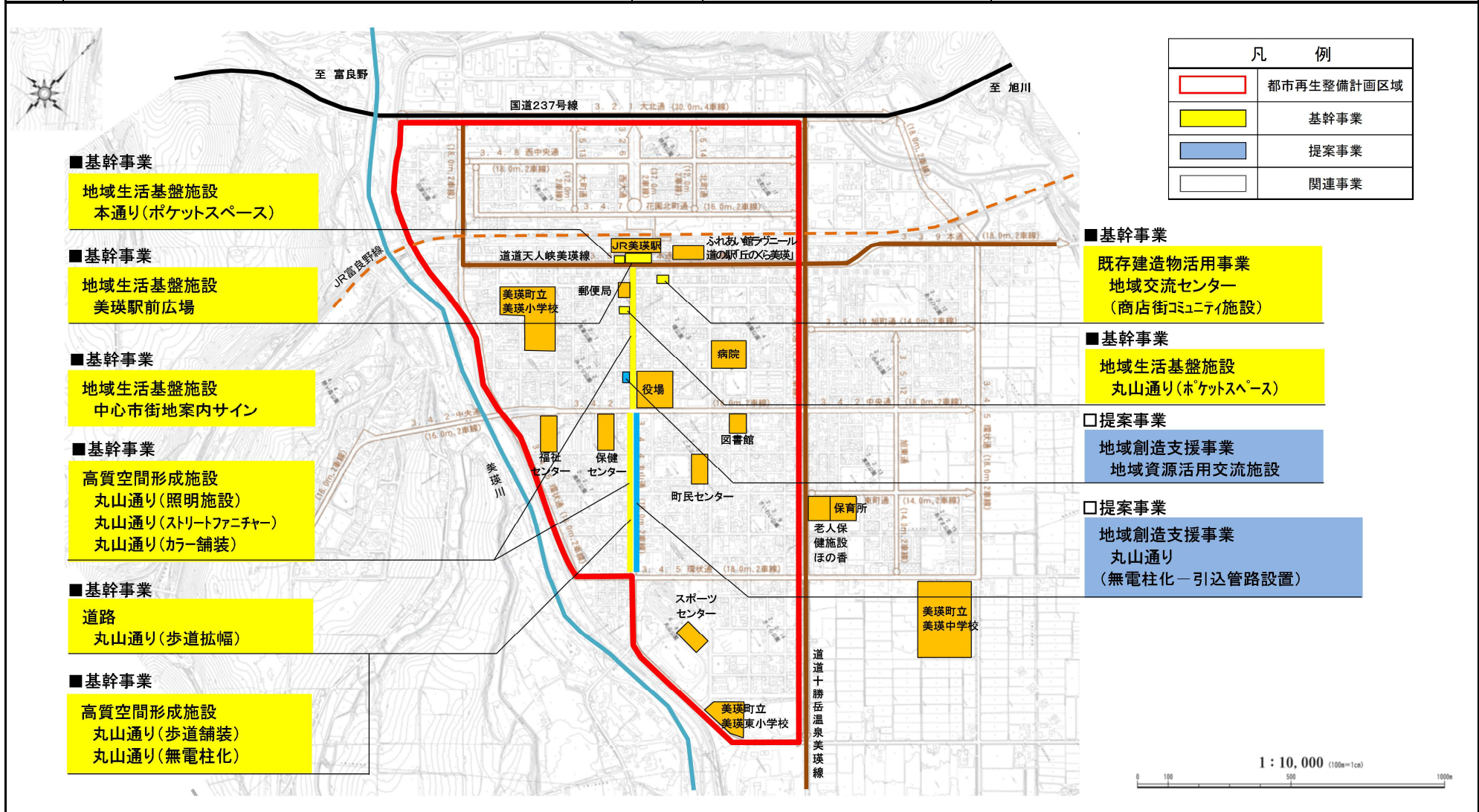
都市再生整備計画の区域

美瑛中心市街地区（北海道 美瑛町）	面積	190.4 ha	区域	美瑛町北町・大町・花園・西町・栄町・本町・中町・寿町・幸町・南町・丸山
-------------------	----	----------	----	-------------------------------------



美瑛中心市街地区(北海道 美瑛町) 整備方針概要図

目標	大目標:美しい丘のまちで次代においても安心して暮らしができる活気のある市街地を再生する。 目標1ー丸山通り地区への誘客を促進し、交流人口の増加による中心市街地全体の活性化を図るための良質な空間を整備する。	代表的な指標	丸山通りの歩行者数 (人/日)	524 (H24年度) → 580 (H30年度)
	目標2ー中心市街地への誘客を可能とする施設整備を推進し、地域コミュニティに負荷の少ない環境を整備する。		中心市街地への入込者数 (人/年)	387,294 (H24年度) → 426,000 (H30年度)
	目標3ー新たなスタイルの拠点施設を整備し、本町の真の魅力の発信と地域交流の推進を図る。		地域交流センターの利用者数 (人/年)	12,761 (H24年度) → 16,500 (H30年度)



凡 例	
	都市再生整備計画区域
	基幹事業
	提案事業
	関連事業

■ 基幹事業
地域生活基盤施設
本通り(ポケットスペース)

■ 基幹事業
地域生活基盤施設
美瑛駅前広場

■ 基幹事業
地域生活基盤施設
中心市街地案内サイン

■ 基幹事業
高質空間形成施設
丸山通り(照明施設)
丸山通り(ストリートファニチャー)
丸山通り(カー舗装)

■ 基幹事業
道路
丸山通り(歩道拡幅)

■ 基幹事業
高質空間形成施設
丸山通り(歩道舗装)
丸山通り(無電柱化)

■ 基幹事業
既存建造物活用事業
地域交流センター
(商店街コミュニティ施設)

■ 基幹事業
地域生活基盤施設
丸山通り(ポケットスペース)

□ 提案事業
地域創造支援事業
地域資源活用交流施設

□ 提案事業
地域創造支援事業
丸山通り
(無電柱化ー引込管路設置)

1 : 10,000 (100m=1cm)
0 100 500 1000m